ボルネード 製品保証書

型　　名	ボルネード気化式加湿器 Evap 3-JP	
お 客 様	ご住所〒　　　　　　TEL：	
	お名前　　　　　　様	
保証期間	お買い上げ日より **1年間**	お買い上げ年月日　　年　　月　　日
販 売 店		

ボルネード・エアー日本総代理店　株式会社エヌエフ貿易
〒176-0024　東京都練馬区中村3-38-8
TEL：0120-390-747/FAX：0120-390-748

本書は当社経由で輸入し、販売した VORNADO AIR, LLC の製品につき、本書記載の内容で無料修理またはお取り替えを行うことをお約束するものです。

1．取扱説明書、本体添付ラベルの注意書による正常なご使用状態で、保証期間中に故障した場合には、下記までご連絡ください。
2．次のような場合は、保証期間内でも修理が有料となります。
　1）使用上の誤り、過度の高温、高湿度、あるいは不当な改造や修理による故障および損傷。
　2）お買上げ後の落下や引っ越しなどによる故障および損傷。
　3）地震、火災、塩害、ガス害、風水害、落雷、異常電圧、およびその他の天災地変による故障および損傷。
　4）本書のご提示がない場合
　5）本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書換えられた場合。
　6）業務用としての使用、車両、船舶への搭載など一般家庭用以外に使用された場合の事故および損傷。
3．製品改善のため、モデルチェンジまたは製造取りやめをご購入者に連絡なしに行うことがあります。その場合は同じような部品または製品で代替えさせていただきます。
4．本書は日本国内においてのみ有効です。
　This warranty is valid in Japan only.

修理のご依頼や取扱方法に関するご質問等は、下記までお願いします。

TEL：0120-390-747

http://www.vornado.jp

Vornado Humidifier Evap 3-JP
Owner's Guide

ボルネード 気化式加湿器

形名　Evap 3-JP

取扱説明書
〈保証書付〉

お買い上げいただき、まことにありがとうございます。

■ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
■特に「安全上のご注意」は必ずお読みください。
■この取扱説明書は巻末に保証書が添付されています。大切に保管してください。

もくじ

CL3-0133 RevA

▷安全上のご注意

本製品を安全に正しくお使いいただくために、ご使用前に必ずお読みください。ここでは、⚠警告と⚠注意に区分して説明します。

	この欄は、誤った取扱いをした時に、死亡や重傷など、致命的な結果に結びつく可能性が大きいものをまとめたものです。
	この欄は、情況によって傷害を受けたり、物的傷害の発生が想定されるものをまとめたものです。

⚠警告

禁止

風を体に直接当てない。

強力な竜巻状の風ですので、急速に体の熱を奪い体調悪化や健康障害の原因になります。特に小さなお子様やお年寄りの睡眠中に、風が直接体に当たらないようにしてください。また、動植物にも当てないでください。

禁止

カバーや吸い込み口に指や棒などを入れない。

内部のプロペラは高速回転しているため大けがの原因になります。小さなお子様がいる場合は必ず保護者の監督のもと、事故がおこらないよう注意してください。

禁止

取扱いに不慣れな方や子供のみでは使用しない。

吹出口に指をいれる等、誤った取扱いをすると、感電やケガの原因となることがあります。

禁止

パワーヘッドに水をかけたり、パワーヘッド本体を水につけたりしない。

モーター部には防水機能はありません。ショート・感電の原因となることがあります。

禁止

他の速度調節器と併用して使用しない。

火災、感電の原因になります。

禁止

改造や分解はしない。

発火したり、異常作動してケガをします。

警告

異常時にはファンを切り、電源プラグをすぐ抜く。

モーター音の異常、異臭、煙が出た場合はすぐスイッチを切り、電源プラグを抜いてください。そのまま使い続けると故障や感電、火災などの原因になります。

強制

電源の入／切の操作は本体についているスイッチで行う。

コンセントの抜き差しで行うと故障の原因になります。

禁止

不安定な場所に置かない。

中の水がこぼれ、ショート・感電の原因となることがあります。障害物のない平らな床の上で使用してください。

⚠注意

禁止

交流100V（AC100V）以外の電源は使わない。

故障や感電、火災の原因になります。

プラグを抜く

長時間使用しない時には必ず電源プラグをコンセントから抜く。

絶縁老化による感電や漏電火災の原因になります。

禁止

コンセントから電源プラグを抜く時は、電源コードを引っ張って抜かない。

芯線の一部が断線し、発熱や火災の原因になることがあります。まず本体のスイッチを切り、電源プラグを持って抜いてください。

強制

電源コードの取扱いに注意する。

電源コードを加工したり、折り曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、絨毯や重い物の下を這わせたり、熱器具に近づけたりしないでください。コードが破損し、発熱や火災の原因になることがあります。

強制

電源プラグは確実に差し込む。

電源プラグは爪の根元まで確実に差し込んでください。電源プラグの不完全な接続やそこに溜まったホコリは、感電や火災の原因になります。また、濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。

強制

加湿器を12時間以上使用しない場合は必ず内部の水を抜く。

フィルターにカビが繁殖し、悪臭、健康障害の原因になります。

禁止

運転中は移動させない。

ケガの原因になります。移動させる場合にはスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、タンクを外してから行ってください。

強制

フィルターの交換、お手入れをするときは、スイッチを切り、電源プラグを抜く。

ケガの原因となることがあります。

強制

湿度が60％をこえた場合は、使用しない。

加湿しすぎると、カビ発生の原因になります。

強制

タンクの水は水道水(お湯は厳禁)を使い、定期的に掃除する。

長い間お手入れをしないと、カビや雑菌が発生し、加湿機能低下の原因になります。

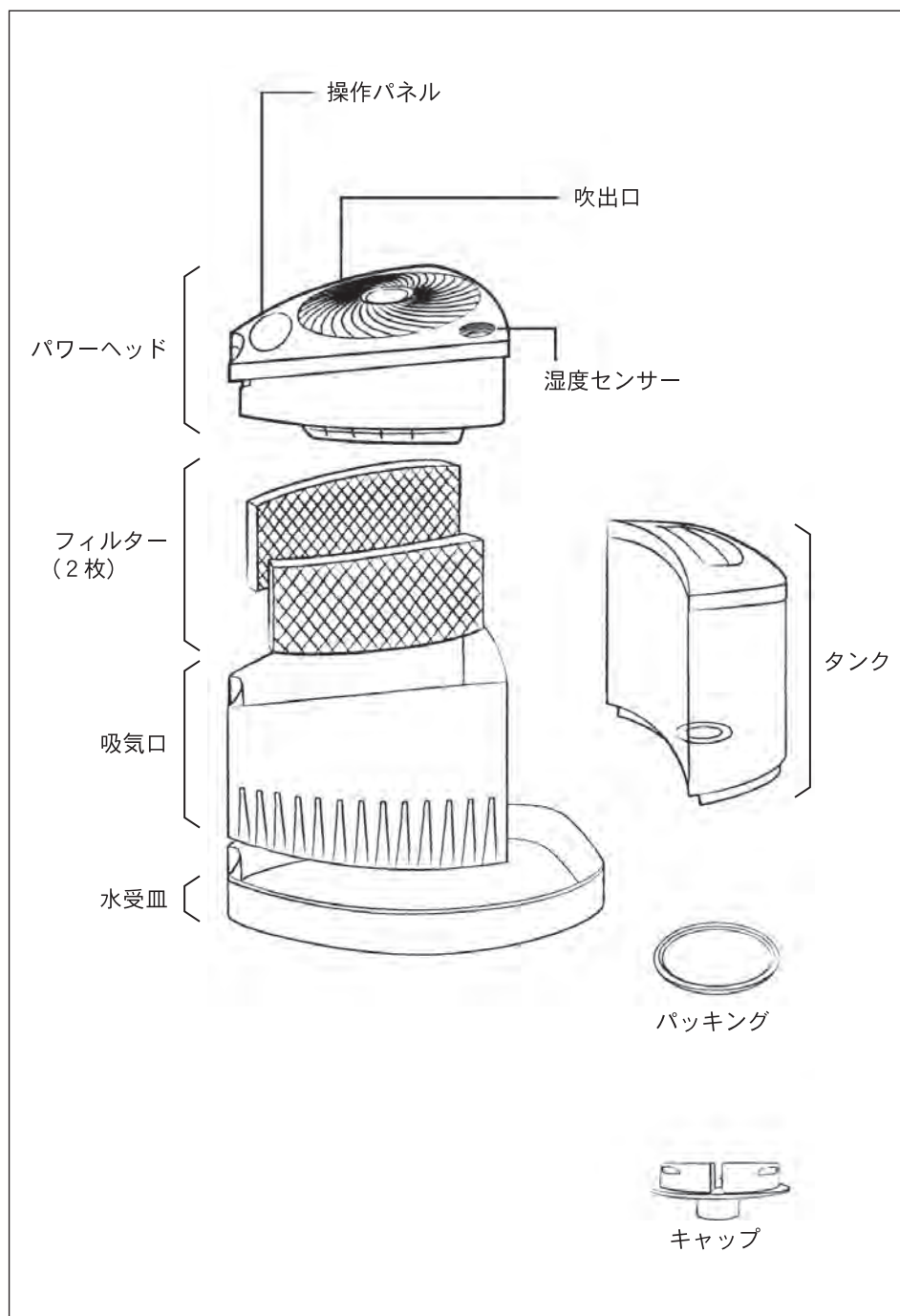
▷ ボルネード加湿器の特徴

- サーキュレーターのトップメーカーであるボルネード社が得意とする空気循環機能により、加湿された空気を部屋の隅々まで運びます。
- 暖房時に生じる部屋の上下の温度差を解消します。
- フィルターは水道水に含まれている不純物の他、空気中のホコリやチリ等もろ過し、室内の空気を清潔に保ちます。
- 使用環境にもよりますが、一回の給水で約12時間連続使用できます。

空気循環機能のついていない加湿器は、加湿器の周りのみ加湿します。

ボルネード加湿器は、竜巻状の風で部屋を隅々まで加湿します。

▷ 各部の名称

操作パネル
吹出口
パワーヘッド
湿度センサー
フィルター
（2 枚）
タンク
吸気口
水受皿
パッキング
キャップ

▷ お使いになる前の準備

水漏れテスト

●製品には万全を期していますが、運送途中の取扱い方等によって製品が損傷する場合もあります。万一に備えて、本体とタンクの水漏れテストを行ってください。
加湿器を万一水が漏れても構わない場所に設置してください。
パワーヘッドを真上に持ち上げて【図A】フィルターを外し【図B】、水受皿に水を入れて【図C】水漏れしていないか確認してください。
タンクに給水し、タンクを横にして寝かせ水漏れしていないか確認してください【図D】。

●万一水漏れ等の問題がある場合には、0120-390-747までご連絡ください。すぐに交換させていただきます。

図A

図B

図C

図D

フィルターの取り付け

本体にはフィルターが2枚セットされていますが、運送途中でずれる可能性があります。所定の場所にセットされているかどうかご確認ください。
フィルターは2か所の吸気口の内側にそれぞれ1枚ずつ立てかけるようにしてセットします。（フィルターには上下、表裏はありません。）

設置場所の確認

本体は水平な床の上に置きます。空気の流れが遮られることのない場所を選んでください。
給水したタンクをセットすると本体が非常に重くなり移動できなくなりますので、給水前に置く場所を決めることをお勧めします。
壁の近くに設置する場合には、吸気口を10cm以上壁から離すようにしてください。

タンクの給水と取り付け

⚠ 注意

●絶対に吹出口から給水しないでください。故障の原因となります。
●タンクにお湯を入れないでください。水あかやバクテリア発生の原因となります。

タンクの給水

1. タンク上部の窪みに手のひらを上向きにして入れ（図A）、手前に傾けてから上に持ち上げます（図B）。
2. タンクを逆さまにしてキャップを回して外します（図C）。中に水が残っている場合は、空にしてから新しい水を入れてください。
3. タンクに水道水を入れてください（図D）。
4. パッキンが所定の位置にあることを確認してからキャップを元に戻して締めてください。

注意　タンクの水がなくなっても、お知らせするブザー音などは鳴りません。タンクは透けて見えますので目でご確認下さい。
万一水がなくなったまま運転を続けても故障することはありません。

図A

図B

図C

図D

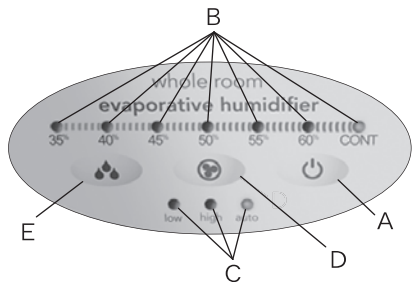
⚠ 注意

タンクのキャップ装着時のご注意
加湿器のキャップに付属している白いゴムパッキンは、キャップではなくタンク本体に取り付けてご使用ください。ゴムパッキンの断面は、凸型になっています。凸側（とびだした部分）をタンク本体の口の溝にはまるようにセットしてください。その上にキャップをかぶせ、きつめにキャップを閉めます。

タンクの設置

タンクの上下の向きを確認し、下の部分を本体の窪みに合わせるようにして、しっかりと本体にセットして下さい。

▷ 操作方法

1. 本体から出てくる風がさえぎられない場所に加湿器を設置してから、電源プラグをコンセントに差し込んでください。
2. 電源ボタン（A）を押してください。電源を入れると、湿度は「連続加湿CONT」、風量は「強high」に設定されています（初期設定）。
3. 風量ボタン（D）と湿度ボタン（E）を押すごとに、風量と湿度が変わります。お好みの設定に合わせてください。
   - 弱ｌｏｗ：狭い空間や就寝中の運転。再給水なく、長時間の加湿が可能です。
   - 強ｈｉｇｈ：広い空間や急速に加湿したい場合
   - 自動auto：より正確な加湿調整ができます。設定湿度を一定に保つために風量は弱lowと強highの間を自動で変動し、必要のない場合には運転を停止します。そのため、運転音を最小限に抑えることができます。
4. 設定湿度に達すると運転は停止し、風量ランプ（C）は消えますが、湿度ランプ（E）は点灯したままです。設定湿度が部屋の湿度より低いと、ファンは回転しません。湿度を上げたい場合は、ファンが回転し始めるまで湿度ボタン（E）を押し、設定湿度を上げてください。
5. 電源ボタン（A）を押すと、運転が停止します。
   （電源ボタンの操作で運転を停止すると、電源を切る前の設定が保存されますが、電源プラグをコンセントから抜くと、初期設定に戻ります。）

A．電源ボタン
B．湿度ランプ
C．風量ランプ
（弱low、強high、自動auto）
D．風量ボタン
E．湿度ボタン

メ　モ

●この加湿器は気化式で、超音波式や蒸気式ではないため、気化する水蒸気は目に見えません。
●室温と湿度の関係
この加湿器は空気そのものを直接加湿する気化式を採用しています。気化される水蒸気の量は室温に左右されます。

温　度	空気中に含むことのできる水蒸気量	タンクの水の量	湿　度
高　い	多　い	減りが早い	上がりやすい
低　い	少ない	なかなか減らない	上がりにくい

●設定湿度は目安ですので、実際の湿度が設定温度より低いと感じる場合には、湿度を高めに設定するか、連続加湿CONTに設定することをお勧めします。

▷ お手入れ方法

⚠ 注意

●本体の内側、フィルターやタンクが汚れていると、加湿能力が低下するだけでなく、カビ、水アカが発生します。こまめにお手入れをして、清潔にお使いください。

●パワーヘッドに水をかけないでください。防水機能はありません。

●研磨剤、ベンジン、シンナーやアルコールをお手入れに使用しないでください。

本体のお手入れ方法

日常のお手入れの方法

1. 電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
2. パワーヘッド、タンク、フィルターを本体から外してください。
3. 本体の水受皿とタンクを空にし、水道水できれいにすすいでください。
4. パワーヘッドのホコリは掃除機で吸い取ってください。エアーダスターもお使いになれます。

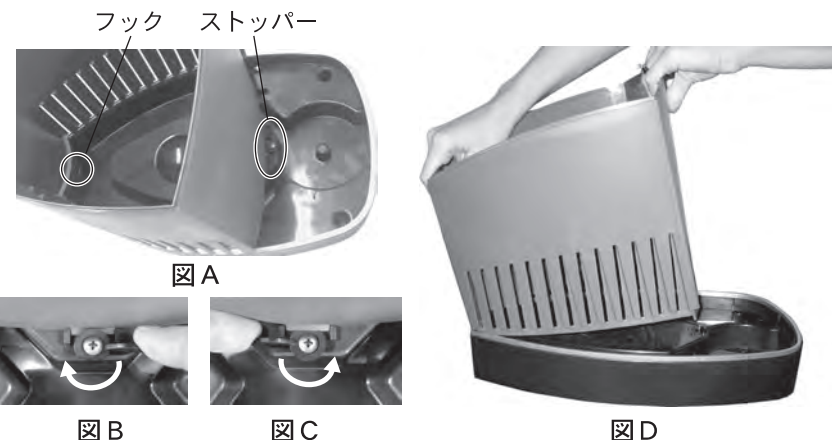
水アカなどが付着した場合は、次の方法できれいにしてください。

1. 電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
2. パワーヘッド、タンク、フィルター、吸気口を外してください。
   ●吸気口の外し方
   - 吸気口の右下にあるストッパーを矢印の方向に回し、ロックを解除してください（図Ｂ）。
   - 吸気口内部左側にあるフックを外し、全体を持ち上げます（図Ｄ）。

注意　吸気口を元に戻す時は、セットした後、必ずストッパーをもとの方向に回し、ロックをしてください（図Ｃ）。

図Ａ

図Ｂ　図Ｃ

図Ｄ

3. 酢水を作り、水受皿に注いで、20分間放置してください。酢水の割合は、水道水1ℓに対して酢大さじ４杯（60cc）です。
4. 酢水を捨て、内部をやわらかいスポンジかブラシでこすり、汚れを取り除いてください。
5. 酢で湿らせた布で、水受皿についたカルキなどをふきとり、ぬるま湯でよくすすいでください。

定期的に、次の方法で水受皿を消毒してください。（酢水でカルキなどを取り除いた後に行ってください。）

1. 漂白剤を薄めた液を注ぎ、時々水受皿をゆらして液体が全体にゆきわたるようにし、20分放置してください。水と漂白剤の割合は、水1ℓに対して、漂白剤1ccです。
2. 漂白剤液を捨て、漂白剤のにおいがなくなるまでよくすすいでください。

フィルターのお手入れ方法

フィルターは水道水の不純物や空気中のホコリやチリを取り除くため、使用している間に汚れて変色してきます。また、上部が固くなり水を吸収しなくなります。その際は、次の方法でお手入れしてください。

フィルターが入る大きさの容器に水を注ぎ、その中にフィルターを入れます。小さじ2杯のお酢を加え20分たったらフィルターを取り出して、すすぎます。押し洗い、こすり洗いはしないでください。余分な水を振って落とし（絞らないこと）、濡れたままの状態で加湿器にセットします。最初はお酢の臭いが残ることもありますが、使用している間に臭いは消えます。

井戸水、硬水を使用するとフィルターの寿命が短くなりますので、ご注意ください。

加湿器を水が入ったままの状態で12時間以上運転せずに放置すると、フィルターにカビが生えることがあります。その際は、11ページの方法で本体を消毒し、フィルターを新品と交換してください。

フィルターの交換・注文方法

上記の方法でお手入れしてもフィルターが柔らかくならない（付着した汚れでフィルターが固くなり、水分を吸い上げなくなった状態）時は、フィルターを交換してください。

使用状況や水質にもよりますが、4～8週間毎の交換が目安です。

フィルターは消耗品ですので、保証の対象外となります。

フィルターの交換方法

1. 電源プラグをコンセントから抜いてください。
2. パワーヘッドを持ち上げて外してください（図Ａ）。
3. 古くなったフィルターを捨ててください（図Ｂ）。
4. 新しいフィルターをセットします。フィルターは、吸気口に沿って立てかけてください。この時、フィルターの下の部分が水受皿の底に当たっているか確認してください。
5. パワーヘッドを元に戻してください。

図Ａ

図Ｂ

■フィルターのご注文方法について

下記まではがき、FAXまたは、インターネットにてご注文ください。

株式会社 エヌエフ貿易	〒176-0024　東京都練馬区中村3-38-8 FAX：0120-390-748 http：//www.vornado.jp/

フィルター代金： １箱（２枚入り）¥2100（税込）
（予告なしに価格を改定する場合もありますので、ご了承ください。）

保管のしかた

1. 保管する前にお手入れをしてください。
2. フィルターを外し、処分します。
3. タンクや水受皿の水を捨ててください。陰干しし、完全に乾いていることを確認します。
4. 箱にしまい、湿気の少ない、涼しい場所に保管してください。

▷ 故障・異常の見分け方 —修理を依頼する前に—

症　状	原　因・対 処 法
白い蒸気が見えない	気化式加湿器は空気を直接加湿するため、蒸気は見えません。吹出口の上に手をかざすと冷たい湿った空気を感じます。
ファンが作動しない	湿度センサーを低く設定していませんか？ 湿度を高めに設定してください。
タンクの水が減らない。 湿度が上がらない。	フィルターを触ってみてください。しっとりと湿っていますか？ 湿っていなければ、フィルターのお手入れか交換が必要です。
時々、「ボコボコ」や「トントン」という音がする。	タンクの水が水受皿に流れている音です。異常ではありません。

▷ 製品仕様

型　式	ボルネード気化式加湿器 Evap 3-JP			
電源電圧及び周波数	100V 50/60Hz			
定格消費電力	50Hz		60Hz	
	強	弱	強	弱
	42W	17W	38W	15W
外形寸法	幅40cm×奥行26cm×高さ31cm			
重量（タンク空の状態）	3.3kg			
最大給水容量（受皿含む）	6.7リットル			
適用畳数	6～39畳			
コード長	1.8m			

ご注意（必ずお読みください）

サーキュレーターはプロペラを外してお掃除が可能ですが、加湿器は配線などの構造上、分解してお掃除するようには設計されておりません。そのため、プロペラを外してしまうと不具合の原因になる事があります。

お掃除の際には、絶対プロペラを外さないでください。

またパワーヘッドを分解してお掃除をされた場合には、保証の対象外となりますのでご注意ください。気になる埃はホームセンターなどで販売されている市販のエアーダスターを使用し吹き飛ばしてください。